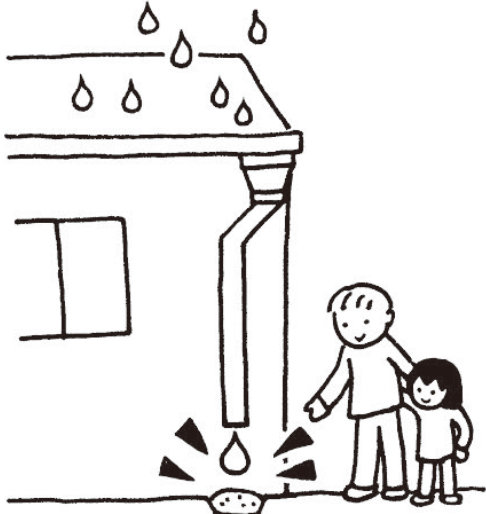


ゼオライト・プロジェクト

微量放射能監視

に参加しませんか！

八王子市民放射能測定室「ハカルワカル広場」では、微量放射能監視プロジェクトを2015年4月に開始し、たくさんの人たちが放射能汚染監視を続けています。



不織布袋入りゼオライト



測定協力をお願い

雨樋（縦樋）下に不織布袋入りゼオライト（約1kg）を設置して、1～3ヶ月毎に1回、袋に入れたまま広げて乾燥した検体をハカルワカル広場で測定していただける人を募集しています。袋入りゼオライトは、ハカルワカル広場で用意します。測定料金は無料です。

遠方の方はゼオライトを袋に入れたまま広げて乾燥させてから宅急便で送ってください。測定後、同じゼオライトを新しい不織布袋に入れて測定結果とともに送料着払いで返送します。（このプロジェクトのための特別な資金がありませんので、送料の負担はお願いしています。ご理解ください。）

協力していただける方は下記ハカルワカル広場までご連絡ください。

ゼオライト・プロジェクト HP <http://hachisoku.org/z/>

ハカルワカル広場はボランティアと、維持会員の会費で運営されています。

八王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場

お電話
問合せ **042-686-0820**

HP: <http://hachisoku.org> Eメール: hachisoku@gmail.com

【開室】火～金：10時～15時 11月19日からしばらくの間土曜日の運営は次のように変わります。●土曜日運営時間：15時～19時、土曜運営場所：8Beat（八王子駅近くドンキホーテ前ビル5階、地図参照）●活動内容：英語リソースを活用する会（海外情報を見る方法を一緒に勉強する）、ハカルワカルコミュニティラジオの準備など。ご参加下さい！予約不要

ボランティア、維持会員募集中！

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です！ ゆうちょ銀行 00180-8-290904（八王子市民放射能測定室）
他行からの振り込みは 018-0224460（八王子市民放射能測定室）

案内地図



- 徒歩：JR八王子駅（北口）より約20分、京王八王子駅より約23分
- バス：JR八王子駅（6番～10番乗り場のバスならどれでも）、京王八王子駅（主に1番のりば、2,3番も少し）から約8分。【織物組合】下車、バスの進行方向（西八王子方向）歩いて約1分
- 車：国道20号 八幡町交差点より西八王子方面へ約100m ※駐車場がありませんので近くのコインパーキングをご利用ください

ゼオライト・プロジェクトの意義

- 微量放射能漏れを察知し告発する市民の存在を知らせる
 - 原子力施設に無関心にならないために監視活動続ける
 - 微量放射能漏れの可能性は原子力施設をなくさない限りなくなることを学ぶ
- 残念なことに、日本の原発は再稼働が進み始めています。「あきらめ」と「無関心」は、私達が一番恐れていることで、未来に対する無責任の表明であり決して許されることではありません。
- このプロジェクトの重要性はますます増してきており、引き続き広い範囲に呼びかけていきます。

雨樋下の濃縮を利用する

ハカルワカル広場の測定活動で、一般の場所よりはるかに大量の雨水を受け止める場所として、雨樋（縦樋）の水が地面にしみこむところがあります。そういう場所ではセシウムが濃縮されて今でも数千 Bq/kg の測定値が出てきます。過去のデータを見ると10倍～100倍くらい濃縮がおこります。雨樋下は「微量放射能漏れがあった」という事実を察知するには最適の場所です。

不織布袋入りゼオライトを雨樋下に置く

不織布袋入りゼオライト（約1kg）を雨樋下の**土の影響を受けないところ**に設置します。



ゼオライト

骨格構造



不織布袋入りゼオライト



雨樋の下に土の影響を受けないように地面から浮かして置いた穴あきのプラスチック箱等に入れたゼオライトを置く

放射能の再浮遊・再降下を監視する

福島事故影響下にある地域では、表土が風で再浮遊し、放射能の再降下が微量にあると考えられます。その影響がどの程度か調べるために、数カ月おきに不織布袋からゼオライトを取り出して測定しデータを調べます。測定が終われば新しい不織布袋に入れてゼオライトをお返しします。1年間程度測定を続ければ、季節の変化なども十分に把握でき、平常時と異常時の違いをキャッチすることができます。

原子力施設近辺での測定

事故が発生した時でなくても、定期点検や廃炉工事などでは、微量な放射能が環境中に放出されています。原子力施設の近辺ではそういう微量放射能放出を監視することは非常に重要です。粘り強く継続的な測定を続けて、データを蓄積することが大切です。

今までの測定結果から

セシウムはゼオライトの骨格構造に吸着されるとほとんど離れることがないので、降下したセシウムの量が積算された測定値として出てきます。同じ場所でも季節や気象条件によって降下量がかなり違っていることもわかります。浜岡原発のある御前崎の測定結果では、2016年6月の測定で初めてはっきりと放射性セシウムが検出されました。